

16. 重油備蓄に伴う蒸気暖房の停止

(学内対応分)

実施時期又は期間

平成23年3月15日～平成23年 3月22日

対応部局及び人員

全学

実施の背景・目的

震災で暖房や非常用発電機燃料の重油調達の見通しが不明な状況であり、附属病院等の緊急時対応のため、重油の備蓄量を確保する必要があった。

実施概要

学内に「東北地方太平洋沖地震の発生に伴う重油等の使用抑制について」の依頼を行い、重油調達が可能となるまでの間、文京町地区のボイラを停止し、重油の備蓄量を確保することとした。

効果又は結果

重油調達が安定するまで重油の確保ができた。

担当部局名

施設環境部